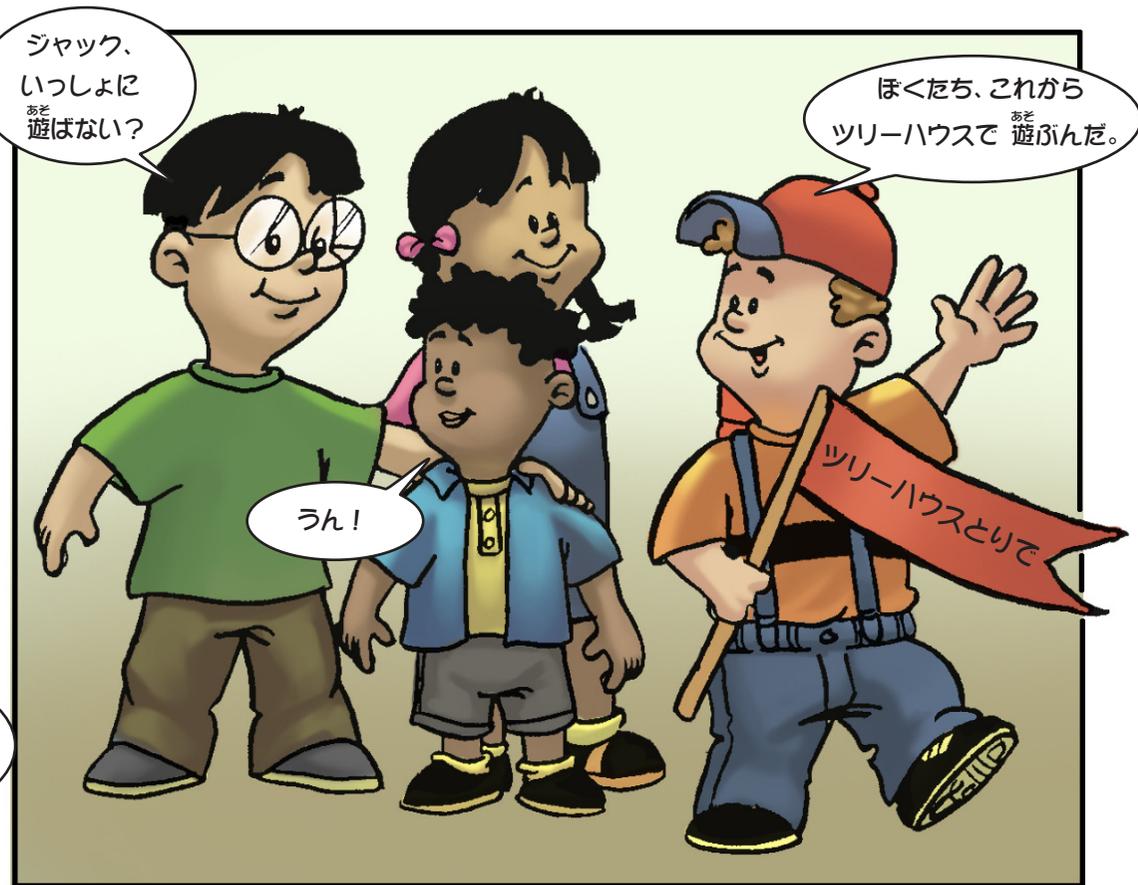


ちい 小さな やさしさが あれば

もし 友だちが 悲しそうだったり 気落ちしているのを見かけたら、自分に何が できるか、考えてみよう。
君には その原因を 解決できなくても、友だちが 元気を 取りもどせるように、はげましてあげたり、やさしくしてあげることは、
いつだって できる。まだ 子供でも、君の やさしさで、状況は 変えられるんだよ。



自分の 好きな ものや ほしい ものの ことなら すぐに 思いつくけど、他の人のために 何が できるかは、立ち止まって 考えてみるという 努力が いるよね。
人を 思いやり、どうしたら 元気づけて あげられるかを 考えてみるのは、やさしさへの 第一歩なんだ。



やさしくするのって、別に ^{べつ} すごく ^{おお} 大きな ^{おお} ことでも、おどろくような ^{おお} ことでも
ないんだよ。ちょっとした ^{しんせつ} 親切や、思いやりの ^{おち} ある ^{ことば} 言葉で、^き 気にかけている ^{こと} ことを
あらわ ^{しじつ} 表せるんだ。事実、1日 ^{にち} の ^{なか} 中で、やさしさを ^{あらわ} 表す ^{ほうほう} 方法は ^{たくさん} あるんだよ。

たと ^{たと} 例えば、こんな ^{こと} から ^{はじめ} 始めてみては ^{どうか} かな。

- ^{あそ} 遊んだ ^{あと} 後は、おもちゃを ^{きちん} と ^{かたづ} 片付ける。
- ^{とう} お父さんや ^{かあ} お母さんが ^{してく} くれる ^{こと} に ^{たい} 対して、^い ありがとうを ^{いう} 言う。
- ^{すす} 進んで ^{とも} 友だちに ^か おもちゃを ^か 貸してあげる。
- ^{せわ} ペットの ^{せわ} 世話を ^{きちん} と ^{する} する。
- ^{もら} もらった ^{もの} 物や ^{つか} 使っている ^{もの} 物を、^{てい} ていねいに ^{あつか} あつかう。

^{じぶん} 自分 ^{してもら} いてもらいたい ^{こと} ことは、^{ひと} 人にも ^{して} あげると ^{いう} いう、
「^{おうごんりつ} 黄金律」^を を ^{覚えて} おこよう。¹ ^{そう} そうすれば、^{自然} と ^{やさしい} やさしい
^{いこう} 行いが ^{できる} ようになるよ。^{ひと} 人の ^{しんせつ} 親切が ^{うれ} しいなら、^{まわ} 周りの
^{ひと} 人 ^{たち} にも ^{しんせつ} 親切に ^{して} あげよう。^{だれ} だれかに ^{てつだ} 手伝って ^{もら} えるのが
^{うれ} しいなら、^君 君も、^ま 真っ先に ^た 他人を ^{てつだ} 手伝って ^{あげ} る ^人 人に
なれば ^{いい} いい。^{やさ} やさしい ^{ことば} 言葉を ^{かけ} られて ^{げん} 元気 ^き が ^で 出るなら、
^君 君も、^{やさ} やさしい ^{ことば} 言葉で ^{ひと} 人を ^{しあ} 幸せに ^{して} あげられる
^{ひと} 人 ^に なるって ^{いう} いう ^{こと} を、^{わす} わすれちゃ ^い けないよ。

^{しあ} やさしさとは、^{しあ} 幸せの ^{よう} ように、^{こころ} 心の ^{なか} 中から ^わ わき出て ^{くる} くる ^{もの} もの。
^だ だから、^{よろ} 喜びで ^あ あふれて ^い れば、^{それ} それを ^{まわ} 周りの ^{ひと} 人 ^{たち} にも
^{つた} 伝え ^{たく} なるんだ。

